

蒲生の子は蒲生で守り育てよう。地域の教育力を結束し、地域全体で小・中学校の支援活動

滋賀県東近江市

活動名

蒲生地区学校支援地域本部

関係する学校

蒲生西小学校・蒲生東小学校
蒲生北小学校・朝桜中学校

| 活動区分 | コーディネーター数 | ボランティア登録数 | 開始年度 | 補助の有無 |
|--------------|-----------|-------------------------------|--------|--------------|
| 学校支援 地域本部 | 1人 | 64人 | 20年度 | 有 |
| 基本データ | コーディネーター数 | 子供の平均参加人数 | 年間開催日数 | 補助の有無 |
| | 実施場所 | | 開始年度 | 放課後児童クラブとの連携 |
| コミュニティ・スクール | 指定日 | 委員数 | 児童生徒数 | 学級数 |
| その他 | ○ | ※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況) | | |

活動の概要

蒲生地区学校支援地域本部スタート

・学校支援地域本部実行委員会発足 ・学校ボランティア実態調査 ・スクールガード・スクールサポーター・田んぼの学校ボランティア等連携の調整 ・ボランティア募集・ボランティア登録

事業の内容・特色

- 各校の地域とのつながりを大切にし、学校の伝統的な取り組みを支援
- ・体験活動や実習の指導補助・学習支援 ・学校行事や総合的な学習における支援 ・授業における個別の支援
- 地域の店舗や団体への協力依頼や調整 ○各ボランティア団体との協力連携 ○登下校の安全確保支援 ○田んぼの子体験事業支援
- 自然体験学習やスキー教室の学生ボランティア等連絡調整などの支援 ○学校の環境整備の支援
- 職業体験学校支援コーディネーターとの連携
- ☆子供は地域の一員 ・地域のイベント「いきいきあかねフェア」への児童の参加
- ☆地域の子は地域で育てよう ・「あかね通学合宿」協力連携 ・「ふるさと蒲生」へのゲストティーチャー派遣調整
- ☆ニーズに合ったボランティアの紹介 ・中学校職業体験事業所の拡大 ・学校のニーズに合ったボランティアの派遣

特徴

【特徴的な活動内容】

蒲生地区は従来からボランティア活動が活発な地域であった。その地域の特徴を生かし、平成20年度から「蒲生の子は蒲生で守り育てよう」というスローガンを掲げ、蒲生地区学校支援地域本部が中心となり、地域全体で中学校1校、小学校3校を支援している。

活動は地域コーディネーターを核として、各学校ボランティア委員会相互の連携が図られ、ボランティア活動の日を調整したり、各学校のニーズに合うボランティアを広範囲にわたり探したりする等、地域で学校支援地域本部に取り組む利点を有効に活用し事業展開している。

また、地域が主体の「通学合宿」に対して、合宿を支援するボランティアスタッフを発掘したり、合宿中に行われる授業のゲストティーチャーを派遣したりする等、地域のボランティア育成にも大きく貢献している。

学校支援地域本部事業が学校支援だけでなく、地域にある様々な力を結集し、学校の内外を問わず、子供たちの育ちを支える仕組みとして地域に定着させ、地域の人々、団体のつながり、地域コミュニティの新たな構築、機能強化を図ることを目指しており、他のモデルとなるような取り組みを進めている。

【実施に当たっての工夫】

地域コーディネーターは、授業支援やボランティア活動等をコーディネートするだけでなく、各校が実施するボランティア会議に積極的に参加し、蒲生地域全ての学校に必要な支援を得られるように広い視野に立って調整している。また、ボランティアには必ず出会うと依頼するなど、人と人、学校と家庭・地域とのつながりを大切にしている。

中学校の職業体験事業所を地元にも拡大することをはじめ、まちづくり協議会や地域の各種ボランティア団体との連携を深めるとともに、児童・生徒が地元にも貢献し、地域の一員として積極的に地域の行事に参加できるようイベントの企画に取り入れてもらう工夫もしている。

事業を実施して

児童、生徒が地域の行事やイベントに積極的に参加することで、学校支援地域本部事業の内容を地域住民が認知し、その趣旨に対する理解も得られたことを機に、地域が中心となって行う平成25年度「あかね通学合宿」は、蒲生地区内自治会7会場で該当児童約50%が参加し4泊5日にわたって行われるまでになった。このことは、地域の教育力や教育体制、住民の結束力が向上していることを示している。また、本地区では平成22年度より小学校の不登校児童数が減少傾向にあり、これは地域支援の充実が要因の一つと考えている。

その他

通学合宿は、平成20年度から「あかね通学合宿実行委員会」を組織し開催してきた。

平成25年度は、新たに蒲生地区のまちづくり協議会や自治会連合会、老人クラブ連合会等が加わり、青少年育成会議、JA農業協同組合、各校PTA会長、地域コーディネーター、学校支援地域本部校の校長等主な団体の代表者により組織され充実した。

また、各合宿所には近隣住民がボランティアとして多数協力する。子供たちに、もらい湯や自炊などを体験させるだけでなく、地域の昔話やゲストティーチャーの授業など地域の教育力を活かした、地域独自の活動が展開されている。現在「あかね通学合宿」は、お世話になる自治会の恒例行事となり、地域の絆の深まりと活性化へとつながった。

地域コーディネーターへは保育園や他の学校支援地域本部のコーディネーターなどからも相談があり、さらに事業が発展し、継続していくことを願っている。

参考URL

【蒲生西小学校ホームページ】

<http://www.2higashiomi.ed.jp/ganishisho/>



蒲生地区学校支援地域本部報告書



学校の伝統的取り組みの地域学習